




# 新宿区立新宿養護学校

# ひまわり

令和8年度4月号



「一人ひとりの輝きを 新宿の街から未来へ」

校長 渡部 早苗

平成31年より在任されていた 門脇 伸也前校長のあとを引継ぎ、令和8年4月1日付で、校長として着任いたしました 渡部 早苗(わたなべ さなえ)です。この度、歴史と伝統ある本校の責任者となったことに、身の引き締まる思いと、子供たちとの新たな出会いに喜びを感じております。前任校は、都立小平特別支援学校(肢体不自由校)で副校長を務めていました。教員としては、長く都立特別支援学校に携わってまいりました。これまでの経験を活かし、本校の児童・生徒が抱く未来への可能性を、教職員一丸となって拡げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

本校に着任してまず感じたのは「都会の真ん中にある、温かな創造の場」であるということです。多種多様な人々が行き交う新宿という大都会にありながら、校内には一人ひとりの歩みをじっくりと見守る、優しく穏やかな時間が流れています。新宿という街が多様性を包み込んで育む社会であるように、新宿養護学校も児童・生徒の個性を活かし、皆さんが安心して自分を表現できる「心の拠り所」でありたいと考えています。

子供たちの将来を見据えて、保護者の皆様、地域の皆様との信頼関係を築きながら、学校運営に邁進してまいります。一年間、御理解と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

「令和8年度のスタートにあたって」

副校長 金田 実

令和8年度が始まって約1か月が経ちました。残念ながら、今年度入学の小学部1年生の児童はおりませんでした。新しく校長先生や教職員の皆さんを迎え、令和8年度の教育活動が始まりました。昨年度の6年生4名が中学部に進学しましたが、落ち着いた様子で入学式に参加する姿を見て、とても成長を感じました。今年度も、児童・生徒の健やかな成長を目指し、教育活動の充実に努めてまいります。

さて、私がこの新宿養護学校に赴任して4年目を迎えました。これまでの3年間、新宿養護学校の教育内容を、時代に沿った、より専門性の高いものにするため、取り組んでまいりました。昨年度から今年度にかけては大幅な教育課程の変更を行い、下校時刻等の変更がありましたが、大きな混乱もなく今年度をスタートすることができました。保護者の皆様の御理解と御協力に感謝いたします。

4年目の今年度は、渡部校長の経営計画の基、肢体不自由特別支援学校として、洗練された教育活動を行う学校を目指して、さらに精進してまいります。

